

2023 年度日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック第 2 回議員総会 議事録

開催日時	2024 年 1 月 17 日（水）20:00～21:00
開催場所	ZOOM 会議
議事進行	大西弘高 支部長
議長	鈴木貞博 先生
記録	関東甲信越ブロック支部事務局
内 容	
<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 本日の議員総会の定足数について。投票権を持つのは、学会代議員数 297 名、その他役員 6 名で計 303 名。現在 ZOOM の出席者 61 名、提出された委任状が 82 通であったため、関東甲信越ブロック支部規約「第 24 条 議員総会定足数」の開催の条件（代議員総数の 3 分の 1 以上）を満たしている。 <p>2. 支部長挨拶（大西ブロック支部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 大西支部長より関東甲信越ブロック支部の活動方針概要が示された。 ➤ 活動は、年 1 回の地方会、若手支援活動、直接補助事業。オンライン中心だが、一部対面も復活の兆しか。 ➤ 収入は、年 300 万円余りの学会からの補助金。 ➤ 支出は、各都県支部への補助金、地方会への補助や上記活動など。 ➤ 若手医師の活動に加え、薬剤師、看護師の活動にも積極的に取り組む。 ➤ 関連他学会とのさらなる連携も図る。 <p>3. 議長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 長野県支部の鈴木貞博先生が立候補され、議長に選出された。 <p>4. 協議事項</p> <p>議題 1：都県連絡委員会役員とブロック支部役員（資料 1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ブロック支部長より説明。都県連絡委員会は、本来都県支部長 10 名以外に委員長、副委員長がいることになっているが、現在委員長は空席で、副委員長はブロック支部担当もしている副理事長なので、都県連絡委員会にはあまり出席いただいていない。前日開催された都県連絡委員会では、都県連絡委員会の位置づけが変化して都県支部とブロック支部の調整の意義が減ってきていること、各都県支部の活性化についての意見交換のニーズが高いことが判明した。1, 2カ月のうちに都県支部長が集まる会合を企画する予定。 ➤ 現ブロック支部長の任期は今年学術総会まで。現在理事選挙が進行中であり、その結果が出た時点で次期ブロック支部長の選任を進めることになる。選任はブロック支部内の学会理事による会議を予定し、そこで行う予定。 	

質疑

- これらに関して都県連絡委員会では何か意見は出たのか。
→今後の話し合いで決まっていく予定。支部長はオブザーバー。

議題2：令和7年度ブロック支部地方会主管（資料2）

- ブロック支部長より説明。2025年度、第14回の地方会をどうするかが課題。第12回は今年3月10日、第13回は栃木県支部主管で今年12月1日を予定している。

質疑

- 第10回は長野県支部主管で大変だったが、支部内の意見交換には有用だった。
- 第4回を新潟県支部主管でやったが、今は負担が大きいなという印象。
- 各都県間のリソースの差は大きい。
→都県連絡委員会で継続審議してもらおう。

議題3：その他

- 特に議論なし。

5. 報告事項

議題1：令和5年度ブロック支部地方会（資料3）

- 実行委員長で、ブロック支部副支部長である家先生から説明。
- オンラインで2024年3月10日の1日のみの開催。

議題2：令和5年度若手医師向け事業（資料4）

- 専門研修支援委員会の鋪野先生より説明。
- オリエンテーションは指導医含めて100名、継続支援企画はそれぞれ80名参加。
- 2024年度オリエンテーションは4月20日予定。各プログラムでの周知をお願いしたい。

議題3：令和6年度ブロック支部地方会進捗

- 栃木県支部村井先生より説明。2024年12月1日の一日のみライトキューブ宇都宮にて対面開催予定。
- ホームページは作成段階。
- 薬剤師との連携も是非にという意見が出た。。

議題4：各都県支部報告

- 横谷茨城県支部長：2023年度は計6回保健医療福祉の勉強会を開催。世代交代が課題今年2月にSDHの教育に関する勉強会がある。
- 村井栃木県支部長：プライマリ・ケア研究会と寺門先生が立ち上げた県支部との連携が課題である。
- 高柳群馬県支部長：年1回の講演会を開催するのが恒例。薬剤師との協働が実現した。

- 中井埼玉県支部長：昨年第 16 回プライマリ・ケア研究会を開催。SPart という若手中心の家庭医療・総合診療教育グループやゆるトークという勉強会も活発。
- 林千葉県支部長：プライマリ・ケア研究会と支部があるが、若手を中心とした総合診療領域の活動との交流は少なかったため、今後企画を拡大していきたい。
- 藤沼東京都支部長：運営委員会を毎月オンラインで定例化した。プログラム間のつながりを狙った文化祭も盛り上がった。
- 井口新潟県支部長：2 月 3 日プライマリ・ケア研究会開催予定。
- 関口長野県支部長：信州 GIM&FM という企画を予定している。県支部地方会は 11 月 30 日予定。

議題 5：その他

- 専門研修支援委員会担当宮澤先生より、事務局の移管が終わったようだが、業務の依頼は増やしてよいかについての質問あり。
→事務局へのコストは増えすぎると困るが、現状では増やしてよい。

以上をもって、2023 年度第 2 回の議員総会は終了となった。